

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ~ 平成30年3月16日
調査研究事項	<p>《委託研究》</p> <p>ア．設置場所に関すること</p> <p>オ．その他夜間中学の新設に向けた準備・検討に資すること</p> <p>・ニーズの把握について</p>
調査研究のねらい	<p>入学希望者が利用することが想定される場所や機会ニーズ調査を行い、本県における中学校夜間学級への就学希望や対象者等のニーズを明らかにする。</p> <p>調査研究や中学校夜間学級調査研究検討会議等を通して、設置形態等を検討し、本県における中学校夜間学級の設置準備を行うべきか明らかにする。</p>
調査研究の成果	<p>○ 熊本県中学校夜間学級調査研究検討会議の実施</p> <p>中学校夜間学級に関する調査研究及び協議等を行い、本県における中学校夜間学級の設置について検討を行った。</p> <p>【第1回】</p> <p>今年度は、健康福祉部にも参加してもらい、事務局説明では国の動き及び本県の状況について理解を深めた。協議では、調査研究について、設置を検討している自治体の情報収集の必要性や、ニーズの把握の必要性とその実施の難しさ等の意見が出された。</p> <p>【第2回】</p> <p>講話では、国の夜間中学説明会の講師である八尾市教育委員会の塚本妙一参事を招き、設置の経緯、現状や取組について理解を深めた。協議では、本年度の調査研究の取組と設置を検討している自治体の情報等を共有した。意見として、夜間中学に関する認知度を高めるために、周知の必要性等が出された。</p> <p>○ 夜間中学等の訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先 広島市教育委員会、広島市立観音中学校 ・出席者 義務教育課、施設課、社会教育課 <p>設置の経緯や授業の内容等の情報を収集した。在籍生徒18名中の約8割は外国籍で、学級は日本語の能力で編成されていた。入学者は、在校生や卒業生の口コミで入学していた。また夜間の通学に配慮が必要な生徒のことを踏まえ、昼グループの</p>

日課が開設されていた。周知・広報の在り方や教育課程の編成については、実態を十分に把握して検討する必要がある。

○ 中学校夜間学級に関するアンケートの実施

市町村教育委員会と連携して、アンケートを実施した。その結果、あった方がよいという意見がある一方で、設置に慎重な意見もあった。また各中学校に、夜間中学についての問合せはないことが分かった。

平成29年度夜間中学新設準備連絡協議会への出席

設置に向けて必要な準備や行程等について参考になった。また、他県では、夜間中学を設置する上で自主夜間中学などの民間レベルの運動が大きな役割を果たしていることが分かった。